

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類 信託期間	追加型投信／海外／債券 無期限	
運用方針	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	
ペビーファンド の主要投資対象	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」および「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、各受益証券の基本組入比率は原則50%：50%とします。
マザーファンド の主要投資対象	しんきん欧州ソブリン債 マザーファンド	EMU（欧州経済通貨同盟）参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
	しんきん米国ソブリン債 マザーファンド	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
各ポートフォリオ のベンチマーク	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	各マザーファンドの受益証券のベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で当社が算出した合成指数をベンチマークとします。
組入制限	各ポートフォリオ共通	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、株式への投資割合は投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	各マザーファンド共通	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
収益分配方針	分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

運用報告書(全体版)

しんきん 海外ソブリン債セレクション

欧州ソブリン債ポートフォリオ
米国ソブリン債ポートフォリオ
欧米ソブリン債ポートフォリオ

第75期（決算日：2022年2月15日）

第76期（決算日：2022年5月16日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。


さて、ご購入いただいております「しんきん海外ソブリン債セレクション」は2022年5月16日に第76期の決算を行いました。

ここに、第75期から第76期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
＜コールセンター＞ ☎ 0120-781812
（土日、休日を除く）携帯電話・PHSからは03-5524-8181
9:00～17:00

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

目 次

◇しんきん海外ソブリン債セレクション	頁
欧州ソブリン債ポートフォリオ	1
米国ソブリン債ポートフォリオ	11
欧米ソブリン債ポートフォリオ	21
分配金のお知らせ	32
◇参考情報	
親投資信託の組入資産の明細	33
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	37
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	46

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	額			ベンチマーク		債券組入比率	純資産額	
		税分	込配	み金	期騰落	中率			FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)
	円			円		%	ポイント	%	百万円
67期(2020年2月17日)	9,423			45		0.2	230.78	0.6	314
68期(2020年5月15日)	9,004			45	△4.0		220.02	△4.7	294
69期(2020年8月17日)	9,819			45		9.6	245.34	11.5	315
70期(2020年11月16日)	9,720			45	△0.5		245.24	△0.0	301
71期(2021年2月15日)	9,803			45		1.3	250.41	2.1	290
72期(2021年5月17日)	9,828			45		0.7	251.74	0.5	294
73期(2021年8月16日)	9,812			45		0.3	253.28	0.6	285
74期(2021年11月15日)	9,699			45	△0.7		252.21	△0.4	281
75期(2022年2月15日)	9,176			45	△4.9		241.59	△4.2	265
76期(2022年5月16日)	8,856			45	△3.0		234.67	△2.9	253

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

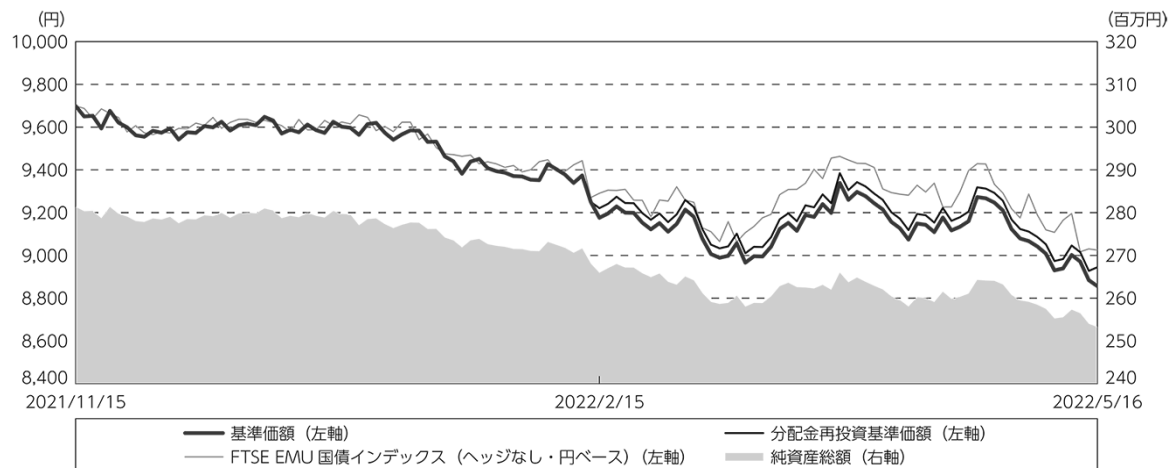
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰 落 率	
第75期	(期 首) 2021年11月15日	円 9,699	% -	ポイント 252.21	% -	% 97.0
	11月末	9,574	△1.3	249.05	△1.3	96.7
	12月末	9,597	△1.1	250.03	△0.9	96.4
	2022年1月末	9,371	△3.4	244.96	△2.9	96.7
	(期 末) 2022年2月15日	9,221	△4.9	241.59	△4.2	96.5
第76期	(期 首) 2022年2月15日	9,176	-	241.59	-	96.5
	2月末	9,111	△0.7	240.64	△0.4	95.4
	3月末	9,297	1.3	245.24	1.5	95.7
	4月末	9,067	△1.2	241.49	△0.0	95.9
	(期 末) 2022年5月16日	8,901	△3.0	234.67	△2.9	95.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○ 当作成期中（第75期～第76期）の運用経過等（2021年11月16日～2022年5月16日）
 < 当作成期中の基準価額等の推移 >



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2021年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

< 基準価額の主な変動要因 >

当ポートフォリオは、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として欧州経済通貨同盟(EMU)参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第74期末基準価額		9,699円	
要因	外国債券	キャピタル	△1,085円
		インカム	86円
	為替		292円
	小計		△707円
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△46円	
第76期末基準価額		8,856円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

<上昇要因>

- ・ユーロ圏では、2022年3月の欧州中央銀行（ECB）理事会において、資産購入プログラム（APP）の22年第3四半期中の終了が示唆されたことや、4月下旬以降にはECB高官による7月の利上げを示唆する発言が散見されたことなどを背景に欧州国債金利が上昇基調で推移する中、ユーロ高円安となったこと。

<下落要因>

- ・ユーロ圏では、2022年3月のECB理事会において、APPの22年第3四半期中の終了が示唆されたことや、4月下旬以降にはECB高官による7月の利上げを示唆する発言が散見されたことなどを背景に欧州国債金利が上昇したこと。

<投資環境>

（欧州債券市況）

当作成期初からボックス圏での推移が続いていたものの、2022年1月以降世界的に金利上昇する中、欧州国債金利も上昇基調で推移しました。その後、3月上旬にはウクライナ情勢への懸念を背景に金利が低下する局面が見られたものの、3月のECB理事会において、APPの22年第3四半期中の終了が示唆されたことや、4月下旬以降にはECB高官による7月の利上げを示唆する発言が散見されたことなどを背景に当作成期末にかけて金利は上昇基調で推移しました。

（為替市況：ユーロ円市場）

当作成期初からレンジ内での推移が続いていたものの、3月上旬にウクライナ情勢への懸念が強まる中、ユーロが売られる相場展開となりました。その後、3月のECB理事会において、APPの22年第3四半期中の終了が示唆されたこと等を背景に欧州国債金利が上昇する中、ユーロが上昇する局面が見られたものの、4月下旬以降はロシアからのエネルギー供給問題によるユーロ圏経済への悪影響が懸念され、当作成期末にかけてはユーロが下落する相場展開となりました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2022年5月16日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は8.44年、時価最終利回りは1.21%となっています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）△7.8%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は△7.0%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第75期、第76期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第75期	第76期
	2021年11月16日～ 2022年2月15日	2022年2月16日～ 2022年5月16日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.488%	0.506%
当期の収益	17	18
当期の収益以外	27	26
翌期繰越分配対象額	2,974	2,948

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年11月16日～2022年5月16日)

項 目	第75期～第76期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 49	% 0.521	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(20)	(0.219)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(26)	(0.274)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.024	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	51	0.545	
作成期間の平均基準価額は、9,336円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

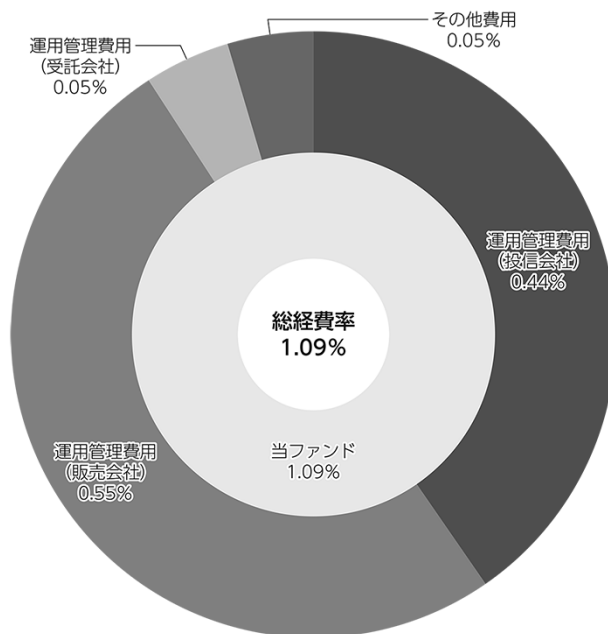
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.09%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

欧州ソブリン債ポートフォリオ

○売買及び取引の状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第75期～第76期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		—	—	5,503	9,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年5月16日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第74期末	第76期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		160,793	155,290	247,190

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド7,717,911千口です。

○投資信託財産の構成

(2022年5月16日現在)

項 目	第76期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	247,190	96.9
コール・ローン等、その他	7,995	3.1
投資信託財産総額	255,185	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2022年5月16日現在における外貨建純資産(12,224,305千円)の投資信託財産総額(12,285,279千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、2022年5月16日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2022年5月16日現在、1ユーロ=134.95円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第75期末	第76期末
	2022年2月15日現在	2022年5月16日現在
	円	円
(A) 資産	267,962,880	255,185,641
コール・ローン等	6,574,226	7,994,938
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	261,388,654	247,190,703
(B) 負債	2,037,300	1,963,805
未払収益分配金	1,304,126	1,286,641
未払信託報酬	729,331	673,573
未払利息	17	10
その他未払費用	3,826	3,581
(C) 純資産総額(A-B)	265,925,580	253,221,836
元本	289,805,863	285,920,265
次期繰越損益金	△ 23,880,283	△ 32,698,429
(D) 受益権総口数	289,805,863口	285,920,265口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,176円	8,856円

(注1) 当ポートフォリオの第75期首元本額は290,089,681円、当作成期(第75期～第76期)中における追加設定元本額は4,245,253円、同一部解約元本額は8,414,669円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第75期0.9176円、第76期0.8856円です。

○損益の状況

項 目	第75期	第76期
	2021年11月16日～ 2022年2月15日	2022年2月16日～ 2022年5月16日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,011	△ 1,042
支払利息	△ 1,011	△ 1,042
(B) 有価証券売買損益	△13,107,323	△ 7,174,853
売買益	17,850	28,467
売買損	△13,125,173	△ 7,203,320
(C) 信託報酬等	△ 733,305	△ 677,324
(D) 当期損益金(A+B+C)	△13,841,639	△ 7,853,219
(E) 前期繰越損益金	△13,836,187	△28,320,655
(F) 追加信託差損益金	5,101,669	4,762,086
(配当等相当額)	(60,997,282)	(60,412,310)
(売買損益相当額)	(△55,895,613)	(△55,650,224)
(G) 計(D+E+F)	△22,576,157	△31,411,788
(H) 収益分配金	△ 1,304,126	△ 1,286,641
次期繰越損益金(G+H)	△23,880,283	△32,698,429
追加信託差損益金	5,101,669	4,762,086
(配当等相当額)	(60,997,989)	(60,413,330)
(売買損益相当額)	(△55,896,320)	(△55,651,244)
分配準備積立金	25,195,819	23,879,329
繰越損益金	△54,177,771	△61,339,844

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第75期計算期間末における費用控除後の配当等収益(519,862円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(60,997,989円)および分配準備積立金(25,980,083円)より分配対象収益は87,497,934円(10,000口当たり3,019円)であり、うち1,304,126円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第76期計算期間末における費用控除後の配当等収益(534,228円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(60,413,330円)および分配準備積立金(24,631,742円)より分配対象収益は85,579,300円(10,000口当たり2,993円)であり、うち1,286,641円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			ベンチマーク		債券組入比率	純資産額		
		税金	込配	み金	期騰落	中率			FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落
	円			円		%	ポイント	%	%	百万円
67期(2020年2月17日)	9,837			45		2.8	394.01	3.2	96.7	382
68期(2020年5月15日)	10,204			45		4.2	409.85	4.0	96.4	385
69期(2020年8月17日)	10,029			45		△1.3	404.62	△1.3	97.1	366
70期(2020年11月16日)	9,710			45		△2.7	395.19	△2.3	97.2	343
71期(2021年2月15日)	9,543			45		△1.3	392.30	△0.7	96.8	337
72期(2021年5月17日)	9,653			45		1.6	398.28	1.5	96.5	331
73期(2021年8月16日)	9,789			45		1.9	407.64	2.3	96.9	361
74期(2021年11月15日)	9,995			45		2.6	419.17	2.8	97.5	359
75期(2022年2月15日)	9,723			45		△2.3	412.03	△1.7	96.9	322
76期(2022年5月16日)	10,240			45		5.8	437.02	6.1	96.4	332

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

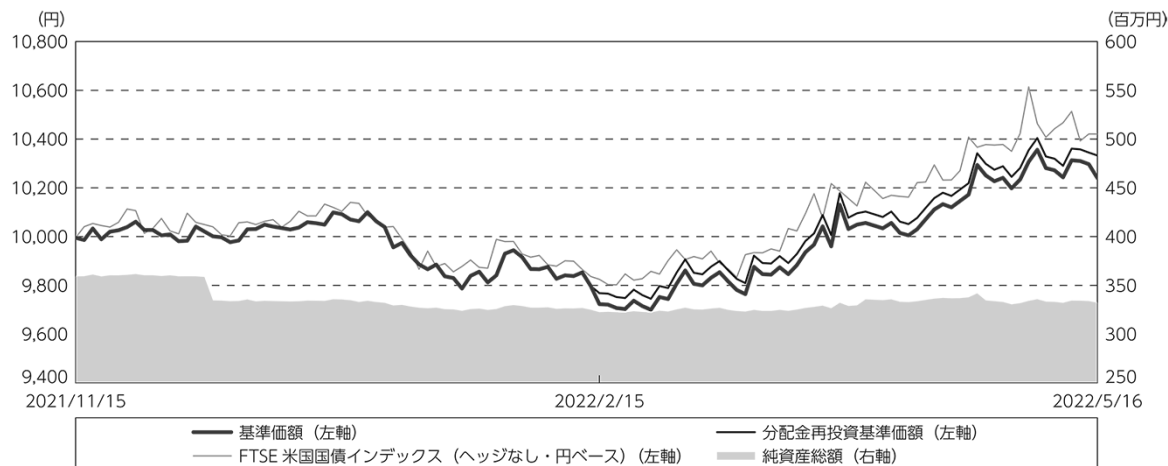
決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	FTSE 米 国 国債インデックス (ヘッジなし円ベース)	騰 落 率	
第75期	(期 首) 2021年11月15日	円 9,995	% —	ポイント 419.17	% —	% 97.5
	11月末	10,005	0.1	422.49	0.8	97.6
	12月末	10,070	0.8	425.26	1.5	97.4
	2022年1月末	9,944	△0.5	418.54	△0.1	97.3
	(期 末) 2022年2月15日	9,768	△2.3	412.03	△1.7	96.9
第76期	(期 首) 2022年2月15日	9,723	—	412.03	—	96.9
	2月末	9,744	0.2	415.25	0.8	97.3
	3月末	10,049	3.4	424.66	3.1	97.5
	4月末	10,307	6.0	445.12	8.0	97.1
	(期 末) 2022年5月16日	10,285	5.8	437.02	6.1	96.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

米国ソブリン債ポートフォリオ

○当作成期中（第75期～第76期）の運用経過等（2021年11月16日～2022年5月16日） <当作成期中の基準価額等の推移>



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2021年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、FTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第74期末基準価額		9,995円	
要因	外国債券	キャピタル	△986円
		インカム	118円
	為替	1,263円	
	小計	395円	
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△60円	
第76期末基準価額		10,240円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。
 ※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

<上昇要因>

- ・2022年1月以降、米連邦準備制度理事会（F R B）議長が実質的な3月の利上げを示唆し、3月の利上げ開始以降も継続的な利上げや大幅な利上げを示唆するF R B高官の発言が散見されたこと等を背景に米ドル高円安が進展したこと。

<下落要因>

- ・2022年3月の米連邦公開市場委員会（F O M C）において、F R Bが0.25%の利上げを決定し、F R B議長が講演で0.5%の利上げ幅を排除しない考えを示したことや、その後も、インフレ期待が高止まりする中、F R B高官の大幅な利上げを示唆する発言が散見されたこと等を背景に米国金利が上昇したこと。

<投資環境>

（米国国債市況）

当作成期初から金利はボックス圏での推移が続いていたものの、2022年1月のF O M Cにおいて、F R B議長が実質的な3月の利上げを示唆し、利上げペースの加速等を否定しなかったこと等を背景に米国金利は上昇しました。3月にはF O M Cにおいて、F R Bが0.25%の利上げを決定し、F R B議長が講演で0.5%の利上げ幅を排除しない考えを示したこと等を背景に米国金利は上昇しました。その後も、インフレ期待が高止まりする中、F R B高官の大幅な利上げを示唆する発言が散見されたこと等を背景に当作成期末にかけて米国金利は上昇基調で推移しました。

（為替市況：ドル円市場）

当作成期初からレンジ内での推移が見られたものの、2022年3月にはF O M Cにおいて、F R Bが0.25%の利上げを決定し、F R B議長が講演で0.5%の利上げ幅を排除しない考えを示したこと等を背景に米国金利が上昇する中、米ドル高円安となりました。その後は、当作成期末にかけて一進一退での推移となりました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2022年5月16日時点におけるファンドの修正デュレーションは6.37年、時価最終利回りは2.89%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：I B R D）、米州開発銀行（I A D B）、アジア開発銀行（A D B）発行の債券を組み入れています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+3.4%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+4.3%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第75期、第76期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第75期	第76期
	2021年11月16日～ 2022年2月15日	2022年2月16日～ 2022年5月16日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.461%	0.438%
当期の収益	29	45
当期の収益以外	15	—
翌期繰越分配対象額	3,691	3,705

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年11月16日～2022年5月16日)

項 目	第75期～第76期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 52	% 0.521	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(22)	(0.219)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(27)	(0.274)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.015	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	53	0.536	
作成期間の平均基準価額は、10,019円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

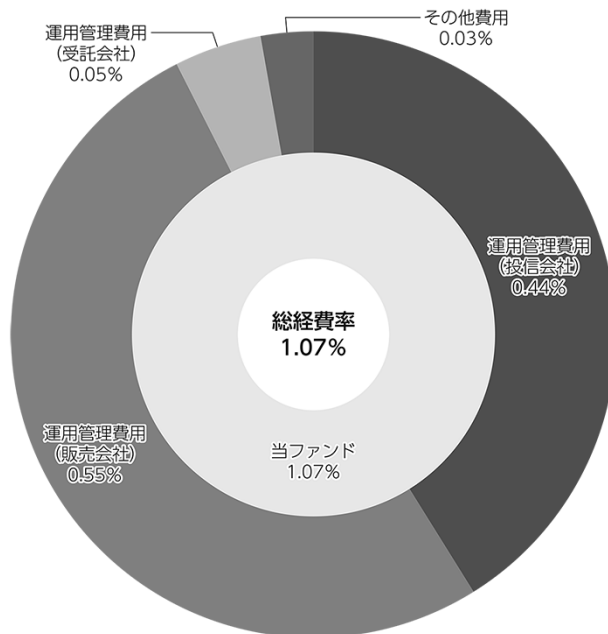
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.07%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

米国ソブリン債ポートフォリオ

○売買及び取引の状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第75期～第76期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		2,698	5,000	24,962	46,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年5月16日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第74期末	第76期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		193,700	171,436	325,678

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド6,935,594千口です。

○投資信託財産の構成

(2022年5月16日現在)

項 目	第76期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	325,678	97.4
コール・ローン等、その他	8,701	2.6
投資信託財産総額	334,379	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2022年5月16日現在における外貨建純資産(13,126,718千円)の投資信託財産総額(13,175,517千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、2022年5月16日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2022年5月16日現在、1ドル=129.65円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第75期末	第76期末
	2022年2月15日現在	2022年5月16日現在
	円	円
(A) 資産	324,856,938	334,379,329
コール・ローン等	7,597,576	8,700,491
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	317,259,362	325,678,838
(B) 負債	2,386,624	2,313,380
未払収益分配金	1,492,437	1,459,203
未払信託報酬	889,492	849,670
未払利息	19	11
その他未払費用	4,676	4,496
(C) 純資産総額(A-B)	322,470,314	332,065,949
元本	331,652,773	324,267,423
次期繰越損益金	△ 9,182,459	7,798,526
(D) 受益権総口数	331,652,773口	324,267,423口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,723円	10,240円

(注1) 当ポートフォリオの第75期首元本額は359,350,936円、当作成期(第75期～第76期)中における追加設定元本額は9,601,159円、同一部解約元本額は44,684,672円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第75期0.9723円、第76期1.0240円です。

○損益の状況

項 目	第75期	第76期
	2021年11月16日～ 2022年2月15日	2022年2月16日～ 2022年5月16日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 928	△ 1,061
支払利息	△ 928	△ 1,061
(B) 有価証券売買損益	△ 6,652,769	18,868,096
売買益	83,214	19,419,476
売買損	△ 6,735,983	△ 551,380
(C) 信託報酬等	△ 894,314	△ 854,333
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 7,548,011	18,012,702
(E) 前期繰越損益金	37,098,182	26,845,368
(F) 追加信託差損益金	△37,240,193	△35,600,341
(配当等相当額)	(54,680,306)	(54,912,353)
(売買損益相当額)	(△91,920,499)	(△90,512,694)
(G) 計 (D + E + F)	△ 7,690,022	9,257,729
(H) 収益分配金	△ 1,492,437	△ 1,459,203
次期繰越損益金 (G + H)	△ 9,182,459	7,798,526
追加信託差損益金	△37,240,193	△35,600,341
(配当等相当額)	(54,681,788)	(54,917,929)
(売買損益相当額)	(△91,921,981)	(△90,518,270)
分配準備積立金	67,748,533	65,240,225
繰越損益金	△39,690,799	△21,841,358

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第75期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (970,438円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (54,681,788円) および分配準備積立金 (68,270,532円) より分配対象収益は123,922,758円 (10,000口当たり3,736円) であり、うち1,492,437円 (10,000口当たり45円) を分配金額としています。

第76期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,895,469円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (54,917,929円) および分配準備積立金 (64,803,959円) より分配対象収益は121,617,357円 (10,000口当たり3,750円) であり、うち1,459,203円 (10,000口当たり45円) を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			ベンチマーク		債組入比率	純資産額
		税分	込配	み騰	期騰	期騰		
	円					ポイント	%	百万円
67期(2020年2月17日)	9,478			45	1.5	17,387.20	97.0	615
68期(2020年5月15日)	9,451			45	0.2	17,327.86	96.3	603
69期(2020年8月17日)	9,786			45	4.0	18,184.74	97.1	599
70期(2020年11月16日)	9,582			45	△1.6	17,970.85	97.3	583
71期(2021年2月15日)	9,542			45	0.1	18,094.44	97.2	572
72期(2021年5月17日)	9,608			45	1.2	18,282.74	97.4	563
73期(2021年8月16日)	9,668			45	1.1	18,555.20	97.3	552
74期(2021年11月15日)	9,714			45	0.9	18,777.47	97.6	549
75期(2022年2月15日)	9,319			45	△3.6	18,223.95	96.8	525
76期(2022年5月16日)	9,411			45	1.5	18,502.05	96.6	524

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

●ベンチマークに関して

※ベンチマークはFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で算出した合成指数（設定日2003年7月1日を10,000として指数化）です。

FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

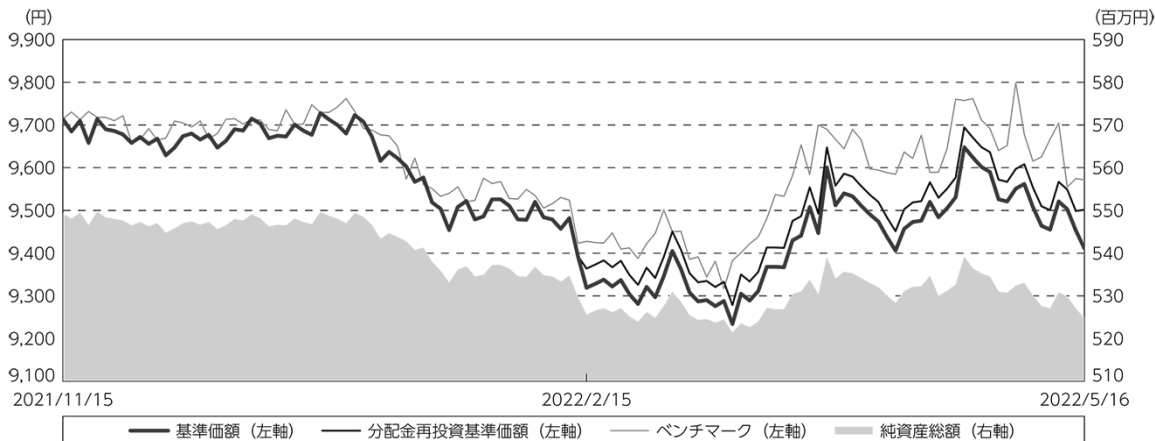
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第75期	(期 首)	円		%	ポイント	%	%
	2021年11月15日	9,714		—	18,777.47	—	97.6
	11月末	9,656		△0.6	18,734.20	△0.2	97.5
	12月末	9,700		△0.1	18,832.87	0.3	97.5
	2022年1月末	9,526		△1.9	18,494.52	△1.5	97.4
(期 末)	2022年2月15日	9,364		△3.6	18,223.95	△2.9	96.8
第76期	(期 首)			—	18,223.95	—	96.8
	2022年2月15日	9,319		—	18,223.95	—	96.8
	2月末	9,297		△0.2	18,259.74	0.2	97.0
	3月末	9,540		2.4	18,642.81	2.3	97.2
	4月末	9,551		2.5	18,941.84	3.9	97.2
(期 末)	2022年5月16日	9,456		1.5	18,502.05	1.5	96.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○ 当作成期中（第75期～第76期）の運用経過等（2021年11月16日～2022年5月16日）
 < 当作成期中の基準価額等の推移 >



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首(2021年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

< 基準価額の主な変動要因 >

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるよう運用を行っています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第74期末基準価額		9,714円	
要因	外国債券	キャピタル	△1,025円
		インカム	101円
	為替	ドル	620円
		ユーロ	145円
小計		△159円	
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△54円	
第76期末基準価額		9,411円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

<上昇要因>

- ・ユーロ圏では、2022年3月の欧州中央銀行（ECB）理事会において、資産購入プログラム（APP）の22年第3四半期中の終了が示唆されたことや、4月下旬以降にはECB高官による7月の利上げを示唆する発言が散見されたことなどを背景に欧州国債金利が上昇基調で推移する中、ユーロ高円安となったこと。

<下落要因>

- ・ユーロ圏では、2022年3月のECB理事会において、APPの22年第3四半期中の終了が示唆されたことや、4月下旬以降にはECB高官による7月の利上げを示唆する発言が散見されたことなどを背景に欧州国債金利が上昇したこと。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

<上昇要因>

- ・2022年1月以降、米連邦準備制度理事会（FRB）議長が実質的な3月の利上げを示唆し、3月の利上げ開始以降も継続的な利上げや大幅な利上げを示唆するFRB高官の発言が散見されたこと等を背景に米ドル高円安が進展したこと。

<下落要因>

- ・2022年3月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において、FRBが0.25%の利上げを決定し、FRB議長が講演で0.5%の利上げ幅を排除しない考えを示したことや、その後も、インフレ期待が高止まりする中、FRB高官の大幅な利上げを示唆する発言が散見されたこと等を背景に米国金利が上昇したこと。

<投資環境>

(欧州債券市況)

当作成期初からボックス圏での推移が続いていたものの、2022年1月以降世界的に金利上昇する中、欧州国債金利も上昇基調で推移しました。その後、3月上旬にはウクライナ情勢への懸念を背景に金利が低下する局面が見られたものの、3月のECB理事会において、APPの22年第3四半期中の終了が示唆されたことや、4月下旬以降にはECB高官による7月の利上げを示唆する発言が散見されたことなどを背景に当作成期末にかけて金利は上昇基調で推移しました。

(米回国債市況)

当作成期初から金利はボックス圏での推移が続いていたものの、2022年1月のFOMCにおいて、FRB議長が実質的な3月の利上げを示唆し、利上げペースの加速等を否定しなかったこと等を背景に米国金利は上昇しました。3月にはFOMCにおいて、FRBが0.25%の利上げを決定し、FRB議長が講演で0.5%の利上げ幅を排除しない考えを示したこと等を背景に米国金利は上昇しました。その後も、インフレ期待が高止まりする中、FRB高官の大幅な利上げを示唆する発言が散見されたこと等を背景に当作成期末にかけて米国金利は上昇基調で推移しました。

(為替市況：ユーロ円市場)

当作成期初からレンジ内での推移が続いていたものの、3月上旬にウクライナ情勢への懸念が強まる中、ユーロが売られる相場展開となりました。その後、3月のECB理事会において、APPの22年第3四半期中の終了が示唆されたこと等を背景に欧州国債金利が上昇する中、ユーロが上昇する局面が見られたものの、4月下旬以降はロシアからのエネルギー供給問題によるユーロ圏経済への悪影響が懸念され、当作成期末にかけてはユーロが下落する相場展開となりました。

(為替市況：ドル円市場)

当作成期初からレンジ内での推移が見られたものの、2022年3月にはFOMCにおいて、FRBが0.25%の利上げを決定し、FRB議長が講演で0.5%の利上げ幅を排除しない考えを示したこと等を背景に米国金利が上昇する中、米ドル高円安となりました。その後は、当作成期末にかけて一進一退での推移となりました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2022年5月16日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は8.44年、時価最終利回りは1.21%となっています。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2022年5月16日時点におけるファンドの修正デュレーションは6.37年、時価最終利回りは2.89%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は△2.2%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は△1.5%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第75期、第76期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第75期	第76期
	2021年11月16日～ 2022年2月15日	2022年2月16日～ 2022年5月16日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.481%	0.476%
当期の収益	23	43
当期の収益以外	21	1
翌期繰越分配対象額	1,673	1,671

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整し運用を行っていきます。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年11月16日～2022年5月16日)

項 目	第75期～第76期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 50	% 0.521	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.219)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(26)	(0.274)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.019	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	52	0.540	
作成期間の平均基準価額は、9,545円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

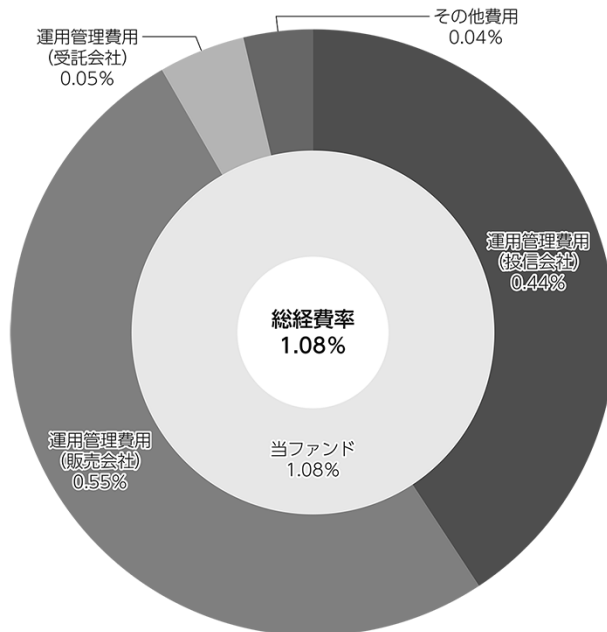
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第75期～第76期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		—	—	1,819	3,000
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		—	—	6,989	13,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年5月16日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第74期末	第76期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		156,193	154,373	245,731
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		149,644	142,655	271,002

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数はしんきん欧州ソブリン債マザーファンド7,717,911千口、しんきん米国ソブリン債マザーファンド6,935,594千口です。

○投資信託財産の構成

(2022年5月16日現在)

項 目	第76期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	245,731	46.5
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	271,002	51.3
コール・ローン等、その他	11,902	2.2
投資信託財産総額	528,635	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2022年5月16日現在における外貨建純資産(12,224,305千円)の投資信託財産総額(12,285,279千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2022年5月16日現在における外貨建純資産(13,126,718千円)の投資信託財産総額(13,175,517千円)に対する比率は99.6%です。

(注4) 外貨建資産は、2022年5月16日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2022年5月16日現在、1ドル=129.65円、1ユーロ=134.95円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第75期末	第76期末
	2022年2月15日現在	2022年5月16日現在
	円	円
(A) 資産	529,562,888	528,635,522
コール・ローン等	11,905,694	11,901,301
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	253,854,440	245,731,980
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	263,802,754	271,002,241
(B) 負債	3,976,864	3,880,682
未払収益分配金	2,537,879	2,509,193
未払信託報酬	1,431,432	1,364,255
未払利息	30	16
その他未払費用	7,523	7,218
(C) 純資産総額(A-B)	525,586,024	524,754,840
元本	563,973,232	557,598,450
次期繰越損益金	△ 38,387,208	△ 32,843,610
(D) 受益権総口数	563,973,232口	557,598,450口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,319円	9,411円

(注1) 当ポートフォリオの第75期首元本額は565,415,347円、当作成期(第75期～第76期)中における追加設定元本額は2,484,499円、同一部解約元本額は10,301,396円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第75期0.9319円、第76期0.9411円です。

○損益の状況

項 目	第75期	第76期
	2021年11月16日～ 2022年2月15日	2022年2月16日～ 2022年5月16日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,364	△ 1,403
支払利息	△ 1,364	△ 1,403
(B) 有価証券売買損益	△18,271,846	8,975,061
売買益	29,563	16,215,045
売買損	△18,301,409	△ 7,239,984
(C) 信託報酬等	△ 1,439,164	△ 1,371,708
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△19,712,374	7,601,950
(E) 前期繰越損益金	△ 3,069,251	△24,968,872
(F) 追加信託差損益金	△13,067,704	△12,967,495
(配当等相当額)	(41,634,604)	(41,285,804)
(売買損益相当額)	(△54,702,308)	(△54,253,299)
(G) 計 (D + E + F)	△35,849,329	△30,334,417
(H) 収益分配金	△ 2,537,879	△ 2,509,193
次期繰越損益金 (G + H)	△38,387,208	△32,843,610
追加信託差損益金	△13,067,704	△12,967,495
(配当等相当額)	(41,635,201)	(41,286,457)
(売買損益相当額)	(△54,702,905)	(△54,253,952)
分配準備積立金	52,727,699	51,932,142
繰越損益金	△78,047,203	△71,808,257

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第75期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,339,640円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (41,635,201円) および分配準備積立金 (53,925,938円) より分配対象収益は96,900,779円 (10,000口当たり1,718円) であり、うち2,537,879円 (10,000口当たり45円) を分配金額としています。

第76期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (2,424,571円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (41,286,457円) および分配準備積立金 (52,016,764円) より分配対象収益は95,727,792円 (10,000口当たり1,716円) であり、うち2,509,193円 (10,000口当たり45円) を分配金額としています。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）

	第75期	第76期
欧州ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
米国ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
欧米ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、各決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

- (注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金（特別分配金）」、残りの部分が「普通分配金」となります。
- (注2) 個人の受益者の場合、収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率が適用されます。
- (注3) 法人の受益者の場合、収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）が源泉徴収されます。
- (注4) 当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。
- (注5) 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2022年5月16日現在)

<しんきん欧州ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド全体(7,717,911千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第76期末								
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%	
ドイツ	17,900	20,793	2,806,109	22.8	—	18.6	3.3	0.9	
フランス	27,900	29,540	3,986,457	32.4	—	25.8	5.5	1.2	
オランダ	5,500	5,514	744,142	6.1	—	6.1	—	—	
スペイン	16,100	17,894	2,414,903	19.7	—	11.6	6.9	1.2	
ベルギー	9,200	9,918	1,338,481	10.9	—	10.3	0.6	—	
オーストリア	5,400	5,491	741,099	6.0	—	4.4	1.6	—	
合 計	82,000	89,152	12,031,194	97.9	—	76.8	17.9	3.2	

(注1) 邦貨換算金額は、2022年5月16日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

参考情報

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第76期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	4,300	3,955	533,830	2031/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	900	871	117,572	2029/2/15
		DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,000	2,003	270,399	2026/2/15
		DBR 1.000 08/15/25	1.0	1,000	1,019	137,635	2025/8/15
		DBR 1.750 02/15/24	1.75	800	823	111,153	2024/2/15
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,400	4,751	641,279	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	2,700	3,359	453,407	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	2,800	4,007	540,831	2034/7/4
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	3,400	2,979	402,090	2031/11/25
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	2,300	2,298	310,186	2025/5/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	3,500	3,363	453,969	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	2,100	1,984	267,804	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,900	2,951	398,346	2031/5/25
		FRTR 2.250 05/25/24	2.25	2,600	2,705	365,048	2024/5/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	1,700	1,873	252,866	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,627	489,547	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	1,900	2,399	323,767	2045/5/25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,700	3,586	483,976	2038/10/25
		FRTR 4.250 10/25/23	4.25	1,000	1,061	143,239	2023/10/25
		FRTR 5.750 10/25/32	5.75	500	708	95,613	2032/10/25
オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	451	60,916	2031/7/15
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	1,400	1,329	179,445	2029/7/15
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	800	687	92,776	2040/1/15
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	800	799	107,916	2027/7/15
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	2,000	2,245	303,086	2033/1/15
スペイン	国債証券	SPGB 1.500 04/30/27	1.5	1,700	1,722	232,454	2027/4/30
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	3,000	3,104	418,980	2026/4/30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	4,000	4,081	550,788	2030/7/30
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,400	1,459	197,010	2025/10/31
		SPGB 3.800 04/30/24	3.8	1,000	1,064	143,685	2024/4/30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	3,100	3,869	522,191	2037/1/31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	1,900	2,592	349,792	2041/7/30
		SPGB 5.000 03/28/35	5.0	1,800	2,477	334,375	2035/3/28
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	500	504	68,081	2025/6/22
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	1,300	1,296	175,012	2027/6/22
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	2,800	2,760	372,589	2029/6/22
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,500	1,385	186,961	2047/6/22
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,300	1,492	201,460	2034/6/22
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,800	2,477	334,375	2035/3/28
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,800	2,477	334,375	2035/3/28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	300	266	35,973	2031/2/20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	1,000	985	132,986	2027/4/20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	700	691	93,376	2028/2/20
		RAGB 1.200 10/20/25	1.2	500	509	68,754	2025/10/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,200	1,170	158,005	2047/2/20
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,700	1,867	252,003	2034/5/23
合 計						12,031,194	

(注1) 邦貨換算金額は、2022年5月16日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

<しんきん米国ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド全体(6,935,594千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	第76期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	101,900	99,881	12,949,597	98.3	—	52.7	30.1	15.5
合計	101,900	99,881	12,949,597	98.3	—	52.7	30.1	15.5

(注1) 邦貨換算金額は、2022年5月16日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) —印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	第76期末							償還年月日
	利率	額面金額	評価額		債選年月日			
			外貨建金額	邦貨換算金額				
アメリカ	%	千ドル	千ドル	千円				
国債証券	T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	3,200	2,757	357,445	2046/5/15		
	T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	4,500	4,371	566,788	2042/2/15		
	T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	2,300	2,255	292,487	2048/5/15		
	T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,500	2,625	340,331	2039/2/15		
	T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	2,200	2,291	297,040	2044/2/15		
	T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	2,700	3,137	406,720	2040/5/15		
	T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	3,800	4,605	597,073	2037/2/15		
	T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,254	162,620	2029/2/15		
	T-BOND 6.250 08/15/23	6.25	1,100	1,153	149,528	2023/8/15		
	T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,150	149,102	2026/11/15		
	T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	3,800	3,161	409,936	2030/8/15		
	T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	1,300	1,100	142,657	2030/11/15		
	T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	1,000	957	124,170	2025/1/15		
	T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	1,800	1,555	201,728	2031/8/15		
	T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	700	609	79,027	2031/11/15		
	T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	3,500	3,156	409,283	2030/2/15		
	T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	900	859	111,493	2026/2/15		
	T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,524	456,919	2026/5/15		
	T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	3,800	3,479	451,139	2029/8/15		
	T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	3,900	3,798	492,421	2025/8/15		
	T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	2,500	2,449	317,591	2025/11/15		
	T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	3,300	3,186	413,087	2027/11/15		
	T-NOTE 2.500 05/15/24	2.5	3,900	3,890	504,449	2024/5/15		
	T-NOTE 2.500 08/15/23	2.5	4,900	4,912	636,873	2023/8/15		
	T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	4,000	3,965	514,102	2026/1/31		
	T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	3,700	3,625	470,017	2029/2/15		

参考情報

銘 柄			第76期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千ドル	千ドル	千円	
国債証券	T-NOTE 2.750 02/15/24		2.75	5,300	5,316	689,238	2024/2/15
	T-NOTE 2.750 11/15/23		2.75	4,400	4,419	573,044	2023/11/15
	T-NOTE 2.875 05/31/25		2.875	5,500	5,510	714,384	2025/5/31
	T-NOTE 3.125 11/15/28		3.125	3,500	3,532	458,011	2028/11/15
特殊債券 (除く金融債)	ASIA 1.875 01/24/30		1.875	5,300	4,870	631,410	2030/1/24
	IADB 2.125 01/15/25		2.125	2,000	1,964	254,687	2025/1/15
	IBRD 0.750 11/24/27		0.75	2,200	1,948	252,680	2027/11/24
	IBRD 1.875 10/27/26		1.875	2,600	2,484	322,102	2026/10/27
合 計						12,949,597	

(注1) 邦貨換算金額は、2022年5月16日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

運用報告書

親投資信託

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

第19期

(決算日：2022年2月8日)

しんきん欧州ソブリン債マザーファンドの第19期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	<p>①主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。</p> <p>②FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。</p> <p>③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。</p> <p>④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。</p> <p>⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	EMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	<p>①株式への投資は行いません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p>

○最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純資産総額
	期騰落	中率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落		
15期(2018年2月8日)	円 16,163	% 10.8	ポイント 234.07	% 13.6	% 97.9	百万円 10,967
16期(2019年2月8日)	15,537	△ 3.9	221.60	△ 5.3	98.5	10,341
17期(2020年2月10日)	15,958	2.7	231.99	4.7	98.5	13,040
18期(2021年2月8日)	16,988	6.5	249.57	7.6	98.3	12,436
19期(2022年2月8日)	16,661	△ 1.9	244.25	△ 2.1	98.3	12,675

○当期中の基準価額と市況等の推移

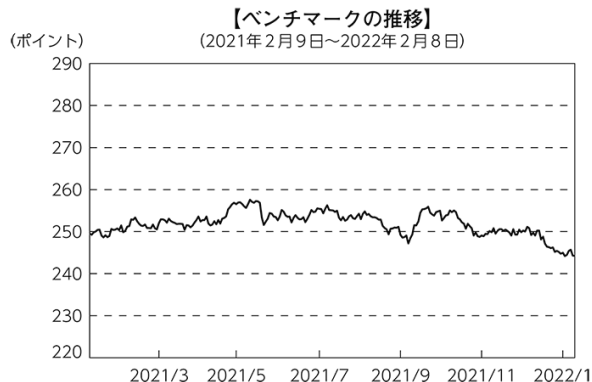
年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	券率
	騰落	率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落		
(期首) 2021年2月8日	円 16,988	% —	ポイント 249.57	% —	% 98.3	
2月末	16,917	△0.4	250.39	0.3	98.2	
3月末	17,054	0.4	251.94	1.0	98.0	
4月末	17,222	1.4	252.40	1.1	98.3	
5月末	17,430	2.6	256.53	2.8	98.0	
6月末	17,174	1.1	253.61	1.6	98.4	
7月末	17,352	2.1	255.43	2.3	98.4	
8月末	17,280	1.7	252.98	1.4	98.5	
9月末	17,026	0.2	249.22	△0.1	98.3	
10月末	17,362	2.2	252.64	1.2	98.5	
11月末	16,978	△0.1	249.05	△0.2	98.6	
12月末	17,035	0.3	250.03	0.2	98.4	
2022年1月末	16,643	△2.0	244.96	△1.8	98.1	
(期末) 2022年2月8日	16,661	△1.9	244.25	△2.1	98.3	

(注) 騰落率は期首比です。

- ※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。
- ※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
- ※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- ※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第19期の運用経過等（2021年2月9日～2022年2月8日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・世界的なインフレ懸念の高まりを背景に、欧州中央銀行（ECB）理事会において金融政策の正常化に向けた議論が進展する中、ユーロ高円安が進んだこと。

＜下落要因＞

- ・2021年4月から5月にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展やパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）の減額観測が高まった局面や、2022年2月のECB理事会において、金融政策は据え置かれたものの、ECB総裁が全会一致でインフレを懸念している旨を言及し、年内の利上げ開始を否定しなかったこと等を受けてユーロ圏主要国の金利が上昇（債券価格が下落）したこと。

＜投資環境＞

（欧州債券市況）

2021年4月から5月にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展やPEPPの減額観測の高まり等を背景に金利は上昇しました。7月には、金利が低下（債券価格が上昇）する局面がみられたものの、9月にはECBが政策理事会においてPEPPの購入ペースを減速させる旨を決定する中、金利は上昇しました。その後は一進一退での推移が見られたものの、2022年2月のECB理事会において、ECB総裁が全会一致でインフレを懸念している旨を言及し、年内の利上げ開始を否定しなかったこと等を背景に当期末にかけて金利は上昇しました。

（為替市況：ユーロ円市場）

2021年4月から5月にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展やPEPPの減額観測の高まり等を背景に欧州国債金利が上昇する中、ユーロが買われる相場展開となりました。7月には、欧州国債金利が低下する中、中国経済の減速懸念等を受けユーロが売られる局面が見られました。その後は一進一退での推移が見られたものの、2022年2月のECB理事会において、ECB総裁が全会一致でインフレを懸念している旨を言及し、年内の利上げ開始を否定しなかったこと等を背景に当期末にかけて欧州国債金利が上昇する中、ユーロが上昇しました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、欧州ソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。

投資国各国の国債インデックスに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2022年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは8.70年、時価最終利回りは0.44%となっています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は $\Delta 1.9\%$ となりました。一方、ベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は $\Delta 2.1\%$ でした。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主としてEMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2021年2月9日～2022年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 7	% 0.041	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.041)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	7	0.041	
期中の平均基準価額は、17,122円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2021年2月9日～2022年2月8日)

公社債

外 国	ユーロ		買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	998	1,961
	フランス	国債証券	5,709	2,483
	オランダ	国債証券	971	729
	スペイン	国債証券	1,377	545
	ベルギー	国債証券	2,902	940
	オーストリア	国債証券	1,377	1,046

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年2月9日～2022年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年2月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	16,100	20,564	2,712,725	21.4	—	17.3	4.1	—
フランス	26,800	31,311	4,130,335	32.6	—	26.2	5.3	1.1
オランダ	6,300	6,764	892,367	7.0	—	6.2	0.8	—
スペイン	15,100	17,739	2,340,073	18.5	—	12.5	6.0	—
ベルギー	9,900	11,547	1,523,238	12.0	—	10.5	1.5	—
オーストリア	5,900	6,521	860,283	6.8	—	5.7	1.1	—
合 計	80,100	94,450	12,459,023	98.3	—	78.4	18.8	1.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第19期ー

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	500	491	64,802	2031/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,900	2,936	387,358	2029/2/15
		DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,000	2,046	269,933	2026/2/15
		DBR 1.000 08/15/25	1.0	1,000	1,039	137,142	2025/8/15
		DBR 1.750 02/15/24	1.75	800	834	110,123	2024/2/15
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,400	5,304	699,734	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	2,700	3,520	464,408	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	2,800	4,391	579,222	2034/7/4
フランス	国債証券	FRTR 0.500 05/25/25	0.5	2,300	2,338	308,486	2025/5/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	3,500	3,708	489,238	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	2,100	2,227	293,811	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,900	3,150	415,573	2031/5/25
		FRTR 2.250 05/25/24	2.25	2,600	2,747	362,384	2024/5/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	4,000	4,673	616,449	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,770	497,359	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	1,900	2,793	368,537	2045/5/25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,700	4,054	534,778	2038/10/25
オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	482	63,683	2031/7/15
		NETHER 0.250 07/15/25	0.25	800	808	106,655	2025/7/15
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	1,400	1,399	184,621	2029/7/15
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	800	805	106,192	2040/1/15
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	800	827	109,128	2027/7/15
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	2,000	2,441	322,084	2033/1/15
スペイン	国債証券	SPGB 1.500 04/30/27	1.5	1,700	1,780	234,863	2027/4/30
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	3,000	3,190	420,850	2026/4/30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	4,000	4,339	572,464	2030/7/30
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,400	1,493	197,010	2025/10/31
		SPGB 3.800 04/30/24	3.8	1,000	1,082	142,828	2024/4/30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	2,100	2,918	385,034	2037/1/31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	1,900	2,933	387,021	2041/7/30
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	1,000	1,027	135,530	2025/6/22
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	1,300	1,339	176,637	2027/6/22
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	2,800	2,906	383,448	2029/6/22
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,500	1,671	220,421	2047/6/22
		BGB 2.600 06/22/24	2.6	400	426	56,286	2024/6/22
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,100	1,402	185,000	2034/6/22
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,800	2,773	365,912	2035/3/28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	300	286	37,766	2031/2/20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	1,000	1,015	133,934	2027/4/20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	700	719	94,913	2028/2/20
		RAGB 1.200 10/20/25	1.2	1,000	1,043	137,688	2025/10/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,200	1,392	183,640	2047/2/20

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー 第 19 期 ー

銘 柄	当 期 末				償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ	%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
オーストリア 国債証券 RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,700	2,064	272,339	2034/5/23
合 計				12,459,023	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 12,459,023	% 98.3
コール・ローン等、その他	216,809	1.7
投資信託財産総額	12,675,832	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (12,622,025千円) の投資信託財産総額 (12,675,832千円) に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2022年2月8日現在、1ユーロ＝131.91円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年2月8日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	12,675,832,212	
コール・ローン等	92,806,247	
公社債(評価額)	12,459,023,498	
未収利息	118,956,582	
前払費用	5,045,885	
(B) 負債	894	
未払利息	99	
その他未払費用	795	
(C) 純資産総額(A-B)	12,675,831,318	
元本	7,608,222,112	
次期繰越損益金	5,067,609,206	
(D) 受益権総口数	7,608,222,112口	
1万口当たり基準価額(C/D)	16,661円	

(注1) 当親投資信託の期首元本額は7,320,799,284円、期中追加設定元本額は583,638,404円、期中一部解約元本額は296,215,576円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、欧州ソブリン債ポートフォリオ160,793,222円、欧米ソブリン債ポートフォリオ156,193,299円、しんきん3資産ファンド(毎月決算型)5,968,615,896円、しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)526,975,655円、しんきん世界アロケーションファンド313,731,257円、しんきん世界アロケーションファンド(積極型)256,610,236円、しんきん3資産ファンド(1年決算型)178,658,140円、しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)46,644,407円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1,6661円です。

○損益の状況 (2021年2月9日~2022年2月8日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	242,924,039	
受取利息	242,971,322	
支払利息	△ 47,283	
(B) 有価証券売買損益	△ 485,086,208	
売買益	490,510,124	
売買損	△ 975,596,332	
(C) 保管費用等	△ 5,319,622	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 247,481,791	
(E) 前期繰越損益金	5,115,713,825	
(F) 追加信託差損益金	411,561,596	
(G) 解約差損益金	△ 212,184,424	
(H) 計(D+E+F+G)	5,067,609,206	
次期繰越損益金(H)	5,067,609,206	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

運用報告書

親投資信託

しんきん米国ソブリン債マザーファンド

第19期

(決算日：2022年2月8日)

しんきん米国ソブリン債マザーファンドの第19期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	①主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。 ②FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。 ③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。 ④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。 ⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
主要投資対象	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	①株式への投資は行いません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純総資産額
	期騰落	中率	FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落 中率		
15期(2018年2月8日)	円 15,158	% △3.0	ポイント 348.44	% △2.9	% 98.7	百万円 10,680
16期(2019年2月8日)	15,719	3.7	362.48	4.0	98.8	10,408
17期(2020年2月10日)	17,061	8.5	393.90	8.7	98.5	13,343
18期(2021年2月8日)	17,139	0.5	392.59	△0.3	98.6	12,510
19期(2022年2月8日)	18,027	5.2	415.21	5.8	98.5	12,921

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率
	騰落	率	FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落 率	
(期首) 2021年2月8日	円 17,139	% —	ポイント 392.59	% —	% 98.6
2月末	16,900	△1.4	390.66	△0.5	98.9
3月末	17,474	2.0	400.38	2.0	98.7
4月末	17,299	0.9	399.23	1.7	98.8
5月末	17,493	2.1	400.79	2.1	98.7
6月末	17,724	3.4	409.73	4.4	98.6
7月末	17,777	3.7	410.31	4.5	98.6
8月末	17,868	4.3	410.11	4.5	99.0
9月末	17,953	4.7	411.74	4.9	98.9
10月末	18,223	6.3	420.89	7.2	98.8
11月末	18,293	6.7	422.49	7.6	99.0
12月末	18,429	7.5	425.26	8.3	98.8
2022年1月末	18,214	6.3	418.54	6.6	98.4
(期末) 2022年2月8日	18,027	5.2	415.21	5.8	98.5

(注) 騰落率は期首比です。

- ※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。
- ※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
- ※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- ※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第19期の運用経過等（2021年2月9日～2022年2月8日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・世界的にインフレ懸念が強まる中、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策の正常化に向けた議論を進展させていく過程において、米国金利の上昇等を背景に米ドル高円安が進んだこと。

<下落要因>

- ・2021年9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において、経済の改善がおおむね予想どおりに進めば、資産購入のペースを緩和する必要がある旨が示唆されたことや2022年1月のFOMCにおいて、FRB議長が3月の実質的な利上げを示唆し、利上げペースの加速等を否定しなかったこと等を背景に債券金利が上昇（債券価格が下落）したこと。

＜投資環境＞

（米国国債市況）

当期初に金利が上昇する局面が見られたものの、2021年7月から8月にかけて、予想を下回る経済指標が見られたことや米国債の空売りを巻き戻す動きを受けて、金利は低下（債券価格が上昇）しました。その後、9月のFOMCにおいて、経済の改善がおおむね予想どおりに進めば、資産購入のペースを緩和する必要がある旨が示唆されたことや、2022年1月のFOMCにおいて、FRB議長が3月の実質的な利上げを示唆し、利上げペースの加速等を否定しなかったこと等を背景に金利は当期末にかけて上昇基調で推移しました。

（為替市況：米ドル円市場）

2021年2月から3月にかけて、日米金利差が拡大する中、米ドル高円安が進展する相場展開となりました。その後も、9月のFOMCにおいて、経済の改善がおおむね予想どおりに進めば、資産購入のペースを緩和する必要がある旨が示唆されたこと等を背景に米国金利が上昇基調で推移する中、当期末にかけて米ドル高円安が進みました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、米国国債等の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2022年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは6.82年、時価最終利回りは1.77%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は+5.2%となりました。ベンチマークであるFTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は+5.8%となっています。この差には、ファンドとベンチマークにおける組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2021年2月9日~2022年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 4	% 0.023	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	4	0.023	
期中の平均基準価額は、17,803円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2021年2月9日~2022年2月8日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千ドル 19,961	千ドル 19,541

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年2月9日~2022年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年2月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	105,000	110,336	12,721,847	98.5	—	52.6	33.3	12.6
合 計	105,000	110,336	12,721,847	98.5	—	52.6	33.3	12.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん米国ソブリン債マザーファンド ー第19期ー

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当		期		末	償還年月日		
		利	率	額	面	評 価 額			
						外		債	建
		%		千	ドル	千	ドル	千	円
アメリカ	国債証券	T-BOND	2.500	05/15/46	2.5	3,200	3,320	382,824	2046/5/15
		T-BOND	3.125	02/15/42	3.125	4,500	5,128	591,367	2042/2/15
		T-BOND	3.125	05/15/48	3.125	2,300	2,700	311,359	2048/5/15
		T-BOND	3.500	02/15/39	3.5	2,500	2,985	344,211	2039/2/15
		T-BOND	3.625	02/15/44	3.625	2,200	2,704	311,813	2044/2/15
		T-BOND	4.375	05/15/40	4.375	2,700	3,593	414,309	2040/5/15
		T-BOND	4.750	02/15/37	4.75	3,800	5,153	594,141	2037/2/15
		T-BOND	5.250	02/15/29	5.25	1,100	1,344	155,029	2029/2/15
		T-BOND	6.250	08/15/23	6.25	1,100	1,184	136,619	2023/8/15
		T-BOND	6.500	11/15/26	6.5	1,000	1,216	140,292	2026/11/15
		T-NOTE	0.875	11/15/30	0.875	3,500	3,213	370,462	2030/11/15
		T-NOTE	1.250	08/15/31	1.25	4,800	4,525	521,790	2031/8/15
		T-NOTE	1.375	06/30/23	1.375	3,000	3,010	347,116	2023/6/30
		T-NOTE	1.500	02/15/30	1.5	3,500	3,401	392,247	2030/2/15
		T-NOTE	1.625	02/15/26	1.625	900	897	103,461	2026/2/15
		T-NOTE	1.625	05/15/26	1.625	3,700	3,684	424,876	2026/5/15
		T-NOTE	1.625	08/15/29	1.625	3,800	3,734	430,609	2029/8/15
		T-NOTE	2.000	08/15/25	2.0	3,900	3,948	455,220	2025/8/15
		T-NOTE	2.250	11/15/25	2.25	2,500	2,552	294,285	2025/11/15
		T-NOTE	2.500	05/15/24	2.5	3,900	3,996	460,806	2024/5/15
		T-NOTE	2.500	08/15/23	2.5	5,300	5,407	623,478	2023/8/15
		T-NOTE	2.625	01/31/26	2.625	5,000	5,177	596,947	2026/1/31
		T-NOTE	2.625	02/15/29	2.625	3,700	3,880	447,390	2029/2/15
		T-NOTE	2.750	02/15/24	2.75	5,300	5,451	628,563	2024/2/15
		T-NOTE	2.750	11/15/23	2.75	4,400	4,515	520,656	2023/11/15
		T-NOTE	2.875	05/31/25	2.875	5,500	5,725	660,110	2025/5/31
		T-NOTE	3.125	11/15/28	3.125	3,500	3,776	435,424	2028/11/15
	特殊債券 (除く金融債)	ASIA	1.875	01/24/30	1.875	5,300	5,257	606,194	2030/1/24
		IADB	2.125	01/15/25	2.125	2,000	2,031	234,218	2025/1/15
		IBRD	0.750	11/24/27	0.75	4,500	4,208	485,277	2027/11/24
		IBRD	1.875	10/27/26	1.875	2,600	2,608	300,739	2026/10/27
合	計							12,721,847	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 12,721,847	98.5%
コール・ローン等、その他	199,915	1.5%
投資信託財産総額	12,921,762	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (12,869,130千円) の投資信託財産総額 (12,921,762千円) に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2022年2月8日現在、1ドル=115.30円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年2月8日現在)

○損益の状況 (2021年2月9日~2022年2月8日)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 12,921,762,870
コール・ローン等	100,361,001
公社債(評価額)	12,721,847,596
未収利息	97,178,090
前払費用	2,376,183
(B) 負債	710
未払利息	97
その他未払費用	613
(C) 純資産総額(A-B)	12,921,762,160
元本	7,167,983,678
次期繰越損益金	5,753,778,482
(D) 受益権総口数	7,167,983,678口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,027円

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 309,364,947
受取利息	309,406,470
支払利息	△ 41,523
(B) 有価証券売買損益	361,920,327
売買益	1,169,630,047
売買損	△ 807,709,720
(C) 保管費用等	△ 2,990,151
(D) 当期損益金(A+B+C)	668,295,123
(E) 前期繰越損益金	5,210,846,995
(F) 追加信託差損益金	292,526,122
(G) 解約差損益金	△ 417,889,758
(H) 計(D+E+F+G)	5,753,778,482
次期繰越損益金(H)	5,753,778,482

(注1) 当親投資信託の期首元本額は7,299,420,042円、期中追加設定元本額は396,773,878円、期中一部解約元本額は528,210,242円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、米国ソブリン債ポートフォリオ178,963,930円、欧米ソブリン債ポートフォリオ149,644,767円、しんきん3資産ファンド(毎月決算型)5,598,066,448円、しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)512,988,653円、しんきん世界アロケーションファンド287,080,015円、しんきん世界アロケーションファンド(積極型)234,649,002円、しんきん3資産ファンド(1年決算型)163,424,204円、しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)43,166,659円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.8027円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。